

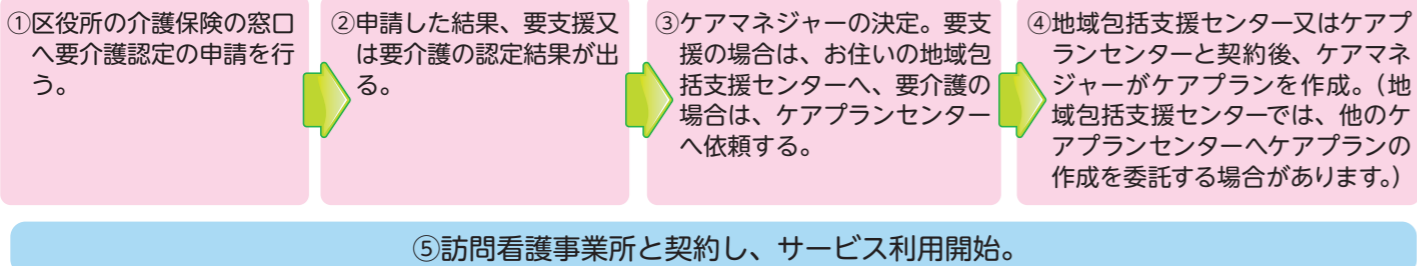
訪問看護について



訪問看護とは

- 看護師等が、要介護・要支援認定を受けた高齢者の自宅等を訪問し、点滴やインシュリン注射などの医療処置や健康状態のチェック、リハビリテーション、療養生活を送るうえでのアドバイスなどを行います。
- 訪問看護は医療保険でも介護保険でも利用することができますが、特定の疾病のある場合を除き、介護保険が優先されます。詳しいことは、主治医や訪問看護事業所にお尋ねください。

訪問看護を利用するまでの流れ



訪問看護の利用について

- 訪問看護サービスを利用するには、医師が作成する「訪問看護指示書」が必要です。
- 看護師、保健師、理学療法士、作業療法士など医療の専門家が訪問します。

訪問看護の主なサービス内容

- ア 健康状態の観察**
血圧、脈拍、体温の測定、病状のチェックなど
- イ 医療処置**
医師の指示のもとに行う点滴、カテーテルやストーマの管理、褥瘡処置、インシュリン注射など
- ウ 認知症ケア**
認知症による事故防止や認知症介護の相談
- エ リハビリテーション**
身体機能の回復や嚥下（飲み込み）機能訓練などの在宅リハビリテーション
- オ ターミナルケア**
がん末期や終末期の痛みのコントロール、看取りについての相談・助言など
- カ 療養生活の相談・支援**
身体の清拭、入浴、排せつなどの介助、療養生活における必要な助言
- キ 家族への支援等**
医療処置の指導、病状や日常生活に関する相談、精神面のサポートなど

費用（自己負担額）

- 自己負担額の割合は、原則1割です。（一定以上の所得がある場合は、割合が2割または3割になります。）
- 1か月に利用できる限度額が介護度によって異なります。限度額を超えた分は、全額自己負担となります。

費用例

（1回あたり。訪問看護ステーションによる30分以上1時間未満の場合）

内容	サービス費用(10割)	利用者負担(1割の場合)
要支援1・2	8,807円	881円
要介護1～要介護5	9,129円	913円

※詳細は、訪問看護事業所へお問い合わせください。



訪問看護事業所の探し方

主治医や担当ケアマネジャーに相談してください。また、自分で探す場合は、地域包括支援センターに相談する方法、又は介護保険の仕組みや介護保険サービス事業者情報が載っている「ハートページ」（ご希望があれば、当センターから郵送できます）で探す方法、インターネットを利用し、厚生労働省の「介護サービス情報公表システム」で検索する方法などがあります。

さらに、実際に訪問看護を利用している人たちの口コミを参考にして探す方法などがあります。

訪問看護事業所を選ぶポイント

訪問看護事業所をどう選べばよいか、悩んだり、迷ったりされると思います。下記の項目は、あくまで参考としていただき、最終的には介護保険サービスを利用される本人や家族がご判断ください。



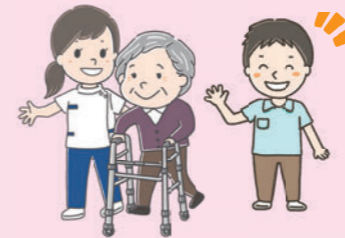
- 自宅から事業所までの距離が遠くない
- 主治医と連携がとれている
- 希望する目的と合っている（例えば、24時間対応可能、がんなどの医療的ケアの経験が豊富など）
- 職員の人数が充分である
- 利用者のことを理解し、言葉遣いが丁寧である
- 体調の急変などの緊急時に対応してくれる

相談事例

訪問看護にかかる一般相談の事例を2例紹介します。なお、相談者や利用者のプライバシーに配慮するとともに、事業所等が特定されないよう内容を一部加工・修正しています。

事例1

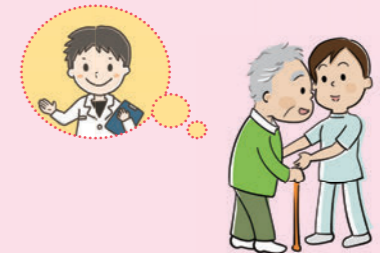
訪問看護を利用している方から、「療法士によるリハビリを受けているが、看護師も一緒に来る。療法士だけではいけないのか。2人来ることで利用料が高くなるのではないか。」との相談。



センターから大阪市へ確認しますとお伝えし、大阪市福祉局介護保険課保険給付グループへ問い合わせると、「療法士によるリハビリを受ける場合、概ね3か月に1回程度は看護師が訪問してご利用者の状態把握をすることになっています」との返答。相談者に大阪市の返答をお伝えした結果、了解されました。

事例2

訪問看護を利用しようとしている家族の方から、「父は退院後、医療処置とリハビリが必要と言われている。介護保険の訪問看護は、同じ日に処置とリハビリを受けることはできないか」との相談。



センターから大阪市へ確認しますとお伝えし、大阪市福祉局介護保険課指定・指導グループへ問い合わせると、「ケアマネジャーが同日に処置とリハビリが必要だと判断したうえで、別々の時間なら同日でも可能です。」との返答。相談者に大阪市の返答をお伝えした結果、了解されました。